

家計のシミュレーションゲームと模擬商談 —身近な経済活動を擬似体験し、その意義を知る—

(総授業時数：7時間)

実施学年、教科等

第3学年 社会科（公民的分野）

単元の目標

- (1) 経済の学習の導入として、生徒の関心・意欲を高めることができるようにする。
- (2) 身近な消費生活を通して経済活動の意義を理解することができるようにする。
- (3) 消費生活などの経済活動が、様々な条件の中で価格を考慮しつつ、選択を通じて行われることに気付くことができるようにする。
- (4) 家計のシミュレーションゲームや模擬商談を通して、経済活動への様々な見方・考え方を広げることができるようにする。また、社会の中でお金が果たしている役割に気づき、お金の生かし方に対して関心を高めることができるようにする。

学習の評価

- (1) 個人の消費生活や企業の生産活動（一部）などに対する関心が高まっている。また、個人や企業の経済活動（一部）に関する疑問や諸問題を、自分の現在や将来の生活に引き付けて意欲的に追究している。（ワークシート）
- (2) 経済活動の意義が人間生活の維持・向上にあり、経済は生活のための手段にほかならないことを理解している。また、収集した資料の中から、模擬商談準備の調査などを通して必要な情報を適切に選択し、活用している。（ワークシート・模擬商談用メモ）
- (3) 日常の消費生活などの経済活動が、様々な条件の中で価格を考慮しつつ、選択を通じて行われることに気づき、その重要性を理解している。（ワークシート）
- (4) 家計のシミュレーションゲームや模擬商談などの擬似体験を通じて、個人や企業の経済活動（一部）に対して、自分の現在や将来の生活に引き付けて考察し、経済活動に対する様々な見方・考え方を広げている。（ワークシート）

展開の特色

- (1) 学習指導要領公民的分野における大項目（2）「私たちと経済」の趣旨を生かしながら、経済で学ぶ大きな3つの内容である「家計」「企業」「政府」の導入単元として位置付けている。
- (2) 導入単元として工夫することにより、その後の「企業」と「政府」の学習をより効果的にするねらいがある。
- (3) 経済学習全体の導入単元として位置付けた単元に家計のシミュレーションゲームを取り入れ、生徒の興味・関心を高めることを期待している。実際に営む家計はそれほど単純なものではないが、家計のシミュレーションゲームを通して生徒自身が家計を擬似体験することによって、生徒自身が家計を自分に引き付けて感じたり、考えたりすることができることを目指している。
- (4) この家計のシミュレーションゲームを通して生徒自身が抱く様々な疑問や課題意識を出発点として、生徒自身の今後の経済学習への取り組みが、より主体的・意欲的になることを期待している。
- (5) 家計のシミュレーションゲームを通して培われる生徒の疑問や課題意識をさらに高めるため、民間企業からの派遣講師との模擬商談を授業に取り入れることとしている。模擬商談という活動を通して、家計のシミュレーションゲーム以上に、価格によって消費行動が影響を受けることを実感させることができるほか、「企業の経済活動」など、これからの経済学習へ見方・考え方を広げることを期待している。

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

Aーア・ウ・エ、Bーア・イ・ウ、Cーア・イ、Dーイ

学習内容のキーワード

家計、消費生活、経済活動、価格、条件、選択、商談、需要・供給、収入と支出、保険、税金・社会保険料、ローン、金融機関、利子

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の流れをつかむ。 家計の概念を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師からこの単元の学習のねらいと進め方について聞く(一斉学習・講義)。 ●家計についての基本的事項を確認する(個別学習・作業、一斉学習・講義)。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆商品とサービスの概念を理解する。 ◆家計の収入と支出の内容について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★学習の目当てがたてられるように、分かりやすく説明する。 ★ワークシートを使って、能率よく基本的事項を押さえさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いによる条件の選択・決定の過程を通して、シミュレーションゲームへの関心を高め、参加意欲を高める。 話し合いによる条件の選択・決定の過程を通して、経済活動の一つである消費活動が、様々な条件の中での選択を通じて行われることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちが将来独立して家計を営むことを想定した、シミュレーションを以下の条件で行えるように、個人で条件を想定した後、グループごとに話し合っ条件を決定していく(グループ学習・話し合い)。 ◆条件 <ul style="list-style-type: none"> ・家族構成は父、母、長男(中2)、長女(小2) ・年収で840万円(5年間の平均)(ボーナスも含めた)年収の合計を12で均等に割り、月の収入は70万円 ◆項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・住居費 Aコース 一戸建て 月のローン返済は20万円 Bコース 中古マンション 月のローン返済は12万円 Cコース 賃貸 月の家賃は8万円 など ●各グループが決めた条件で、家計の支出をワークシートにまとめる(グループ学習・話し合い)。 ●各グループが決めた条件で、5年間生活したこととする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆商品とサービスの概念を理解する。 ◆生活向上のために、生産と消費が必要であることを理解する。 ◆家計の収入と支出の内容について理解する。 ◆保険の仕組みに気付く。⇒内容が高度になるので深入りしない。 ◆税金や社会保険料の社会的な意味に気付く。⇒内容の理解は財政で扱う。 ◆ローンの意味に気付く。⇒内容が高度になるので深入りしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ★グループでの条件を決定する際に、他者との違いに気付くために、個人で条件設定する際には、自分の意思をはっきりさせておく。 ★条件決定に向けて、グループごとの疑問点について、アドバイスを加える。ただし、必要以上に説明を加えないように注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> シミュレーションゲームの過程を通して、経済活動の一つである消費活動が、様々な条件の中での選択を通じて行われることに着目する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家計のシミュレーションゲームの進め方について、教師から説明を受ける(一斉学習・講義)。 ●各グループが決めた条件で、家計の支出のシミュレーションゲームを行う(グループ学習・作業、話し合い)。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆限られた条件の中での選択によって経済活動が行われていることを理解する。⇒この考え方が、家計・企業・財政に共通することに気付かせる。 ◆選択(合理的な意思決定)の重要性と、選択には責任を伴うことに気付く。 ◆保険の仕組み、税金や社会保険料の社会的な意味、ローンの意味については、第2時と同様。 ◆保険の意義に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ★その際、5年間(程度)に起こりうる項目を教師が考えて用意しておく。 [項目例] <ul style="list-style-type: none"> ・外壁の塗り替えで200万円支払う(住居費Aコース) ・水回りの修理をして、60万円支払う(住居費Bコース) ・賃貸の更新契約があり、16万円支払う(住居費Cコース)など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
4	<ul style="list-style-type: none"> 家計の選択の妥当性について検討する。 経済活動の意義と役割を一部理解する。 選択の基準の一つとなる価格について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●前時のシミュレーションゲームの結果から、自分たちが決めた条件について、家計の見直しを行い、良かった点や改善点を見つける(グループ学習・話し合い)。 ●家計を成立させるために大切なことを考える(個別学習・作業)。 ●ワークシートを活用して、経済活動が様々な条件の中で行われていることに気付く(個別学習・作業)。 ●シミュレーションゲームを通して、家計に大きな影響を与えた住宅と自動車について、発展的に追究するため、項目と条件を選択し合う(グループ学習・話し合い)。 ●グループごとに自分たちが選択した項目と条件について、事前調査を行う(講師の先生との商談を実施するための準備を行う)。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆限られた条件の中での選択によって経済活動が行われていることを理解する。⇒この考え方が、家計・企業・財政に共通することに気付かせる。 ◆選択(合理的な意思決定)の重要性と、選択には責任を伴うことに気付く。 ◆保険の仕組み、税金や社会保険料の社会的な意味、ローンの意味については、第2時・第3時と同様。 ◆保険の意義については第3時と同様。 	<ul style="list-style-type: none"> ★グループごとの家計の見直しを支援する。その際、シミュレーションゲームの家計簿などを使って、ゲームを振り返らせながら、考えさせる。 ★この時間の前までに、テーマについて調査するための資料(チラシ等)を集めておく。できれば、講師の先生から資料の支援を受けたい。資料提示・仕様の説明(条件:南向き、リビングが広いなど) *買い手が条件を提示して、売り手がそれに合う物件を紹介するのか、買い手が予算を提示して、売り手がその範囲で物件を紹介するのか。 *家族構成によって間取りをどうするか。 *ワゴンにするかスポーツカーにするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
5					

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・選択の基準の一つとなる価格について考えを深め、市場経済の基本的な考え方に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本時の進め方についての説明を聞く(一斉学習・講義)。 ●講師の先生方の自己紹介(一斉学習・講義)。 ●グループごとに自分たちの選択したテーマについて講師の先生とワークショップ(模擬商談)を行う。その際、第2時から条件設定としている家族構成によるロールプレイングとして行う(グループ学習・話し合い)。 ◆項目と条件の例 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅を購入(維持)するためには <ul style="list-style-type: none"> A:一戸建て(6,000万円) B:新築マンション(4,000万円) C:賃貸(3LDK~4LDK) ・自動車を購入(維持)するためには <ul style="list-style-type: none"> A:大型車(350万円~500万円) B:普通車(200万円以内) C:保有しない ◆講師(模擬商談相手)例 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅メーカーの営業担当の方 ・自動車販売会社の営業担当の方 ●模擬商談を行う際に、様々な条件の違いについて考えられるようにする(グループ学習・話し合い)。 ◆条件例 <ul style="list-style-type: none"> ・車の商談の場合は、「頭金100万円を支払ってローンを組む場合」と「頭金を全く支払わないでローンを組む場合」では、ローンの支払額に大きな差があり、負担が違ってくことに気付く。また、「家族構成より、6人以上乗れる車が条件」であることに気付くなど。 ●模擬商談の中で、人気製品、新製品、生産モデルの末期、決算期、ボーナス期といった、価格の違いに気付かせ、価格と需要・供給の関係や価格による生産量の変化の一部を考えられるようにする(グループ学習・話し合い)。 ●シミュレーションゲームを実施する前の、5年前に戻ったという設定で商談を行い、自分たちの選択について検討する(グループ学習・話し合い)。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆限られた条件の中での選択によって経済活動が行われていることを理解する。 ⇒この考え方が、家計・企業・財政に共通することに気付かせる。 ◆選択(合理的な意思決定)の重要性と、選択には責任を伴うことに気付く。 ◆保険の仕組み、税金や社会保険料の社会的な意味、ローンの仕組みの一部を理解する。 ⇒内容が高度になるので深入りしない。 ◆金融機関が家計や企業間の資金の仲立ちをしていることに気付く。 ⇒主な金融機関の種類や金融機関の役割については中学校で扱うが、預金の種類や外国為替については内容が高度になるため深入りしない。 ◆利子の概念を理解する。 ⇒簡単な利子の計算については中学校で取り扱うことが望ましい。 ◆価格と需要・供給の関係の概略を理解する。 ◆価格による生産量の変化(調整)を一部理解する。 ⇒企業の学習につなげるようにする。 ◆消費者としての自立的な態度を身に付ける。 ⇒企業の学習と財政の学習につなげるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ワークショップの中で、限られた条件(収入、予算、場所、時期、家族構成、好みなど)によって、様々な選択が考えられることに、気付かせる。 ★ワークショップの中で、現実の社会の経済の仕組みに気付かせる。 ★ワークショップの中で、価格の働き(何をどれだけ生産・消費するにかかわって、人的・物質的資源を効率よく配分する)について、触れてもらうようにする。⇒企業の学習につなげるようにする。 *講師の先生とのかかわりを通して、生徒に気付かせる(講師の先生と事前の打ち合わせを行う)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
7	<ul style="list-style-type: none"> ・選択の基準の一つとなる価格について考えを深め、市場経済の基本的な考え方に気付く。 ・経済の導入項目として、経済活動の意義及び、市場経済の基本的な考え方をまとめる。 ・社会の中でお金が果たしている役割に気付き、お金の生かし方に対して関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●商談のシミュレーションで分かったこと(条件など)をまとめる(グループ学習・話し合い、作業)。 ●グループごとに商談のシミュレーションで分かったこと(5年前の選択の妥当性など)を報告する(グループ学習・発表)。 ●家計のシミュレーションゲームと模擬商談を経て、市場経済の基本的な考え方(消費生活などの経済活動が、様々な条件の中で、価格を考慮しつつ、選択を通じて行われること)と、社会の中でお金が果たしている役割やお金の生かし方について、自己の考えをまとめる(個別学習、作業)。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆価格と需要・供給の関係の概略、価格による生産量の変化(調整)については第6時と同様。 ◆限られた条件の中での選択によって経済活動が行われていることについては、第6時と同様。 ◆選択(合理的な意思決定)の重要性と、選択には責任を伴うことについては、第6時と同様。 ◆保険の仕組みや意義、税金や社会保険料の社会的な意味、ローンの社会的な意味を、一部理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★発表にふさわしい簡潔な資料を作らせる。 ★時間を区切って、能率よく発表させる。 ★多面的に考えるように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート



1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

本時の目標

ア：家計のシミュレーションゲームに意欲的に取り組むことができるようにする。
イ：日常の消費生活などの経済活動が、様々な条件の中で選択を通じて行われることに気付くことができるようにする。

●本時の展開

	学習内容	学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
導入	・授業の進め方	●本時の進め方について、教師の説明を聞く。		★分かりやすい説明を心がける。	・ワークシート
	①家計のシミュレーションゲームの準備 ・家計支出の内訳	●ワークシート(条件設定)を使って、各グループが前時で決めた条件や役割の確認を行う。 ●各グループが設定した毎月の貯蓄額を5年間計算し、ワークシート(家計簿)に記入し、家計のシミュレーションゲームに備える。		★家計のシミュレーションゲームに備え、生徒の意欲の高まりを継続させるように、ワークシート(家計簿)の記入方法の理解を徹底させる。	・ワークシート
展開	②家計のシミュレーションゲームの実施 ・経済活動(家計)における選択の重要性と選択に対する責任 ・市場経済の基本的な考え方	●各グループが決めた条件で、家計のシミュレーションゲームを行う(1年目)。 *グループごとに、1年目は季節にあった右の項目例のようなカードを引き、家計簿(ワークシート)に記入しながらゲームを進める。 *各グループが前時で決めた役割(父・母・兄・妹・祖父・祖母などの家族構成)を意識して、ロールプレイングとしてゲームを行う。	◆限られた条件の中での選択によって、経済活動が行われていることを理解する。 ⇒この考え方が、家計・企業・財政に共通することに気付かせる。 ◆選択(合理的な意思決定)の重要性と、選択には責任を伴うことに気付く。	★ゲーム進行の際に起こりうる項目を教師が考えて用意しておく。1年目は、季節に合わせて各月に引くカードの順番も決めておく。 [項目例] ・兄が私立理系の大学に合格し、初年度250万円かかる。 (3・4月、教育費Aコース) ・猛暑が続き、エアコンやシャワーを使いすぎ、光熱費が10万円かかる。 (7・8月、光熱費Aコース)など。	・ワークシート
	③家計のシミュレーションゲームの実施 ・経済活動(家計)における選択の重要性と選択に対する責任 ・市場経済の基本的な考え方 ・保険・税金・ローンの概念	●各グループが決めた条件で、家計のシミュレーションゲームを行う(2年目～5年目)。 *グループごとに右の項目例のようなカードを引き、家計簿(ワークシート)に記入しながらゲームを進める。2ヶ月で1回カードを引いていき、5年間で合計30回カードを引いていく。 *各グループが前時で決めた役割(父・母・兄・妹・祖父・祖母などの家族構成)を意識して、ロールプレイングとしてゲームを行う。	◆限られた条件の中での選択によって、経済活動が行われていることを理解する。 ⇒この考え方が、家計・企業・財政に共通することに気付かせる。 ◆選択(合理的な意思決定)の重要性と、選択には責任を伴うことに気付く。 ◆保険の仕組みに気付く。 ⇒内容が高度になるので深入りしない。 ◆税金や社会保険料の社会的な意味に気付く。 ⇒内容の理解は財政で扱う。 ◆ローンの意味に気付く。 ⇒内容が高度になるので深入りしない。	★ゲーム進行の際に起こりうる項目を教師が考えて用意しておく。 [項目例] ・外壁の塗り替えで200万円支払う。 (住居費 Aコース) ・車の買い換えの時期となり、頭金として150万円支払う。 (自動車Aコース) ・家族でイタリアへ海外旅行に出かけ、150万円支払う。 (教養・娯楽費Aコース)など。	・ワークシート
	まとめ	・シミュレーションゲームの結果発表	●各グループの結果を聞き、家計の改善点等を考えるきっかけとする。		★次時に家計を振り返る際に役立つように、各グループのケースと比較しながら考えるように、アドバイスする。

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●教材・資料等 (本時の授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

年()組()番()・()班

自分の望む家計を設計しよう (シミュレーションゲームの準備)

*家族構成 父、母、長男(中2)、長女(小2)、その他(祖父、祖母など)
*年収 840万円

1. 次の各支出項目について、それぞれAコース・Bコース・Cコースの中から1つのコースを選択し、赤丸をつけていこう。

コース 項目	Aコース	Bコース	Cコース	備考
住居費	一戸建て 月のローン返済は 20万円	中古マンション 月のローン返済は 12万円	賃貸 月の家賃は 8万円	
食費	食い道楽 月20万円	一般的 月15万円	節約 月10万円	
衣料費	着道楽 月5万円	一般的 月2万円	節約 月1万円	
光熱・水道費	快楽 月3万円	一般的 月2万円	節約 月1万円	
交通・通信費	贅沢 月7万円	一般的 月5万円	節約 月2万円	
教育費	私立(2人) 月6万円	公私 月4万円	公立(2人) 月2万円	
教養・娯楽費	贅沢 月7万円	一般的 月4万円	節約 月2万円	
自動車	贅沢 月のローン5万円	一般的 月のローン2万円	保有しない	
税金等	月12万円	月12万円	月12万円	
保険	【生命：月/2万円】【火災：月/1万円】【地震：月/1万円】【自動車：月/1万円】 *地震保険に入る時は、火災保険にも加入しなくてはならない。			
預貯金	()万円 *自由に設定できる。ただし、月の収入の総額を超えない。 *預貯金と保険の合計は12万円を限度とする。			
その他	(.)万円 (.)万円 (.)万円 *自由に設定できる。ただし、月の収入の総額を超えない。			

*月の総支出 ()万円

2. 役割分担を決めておこう。

父() 母() 長男() 長女()
祖父() 祖母()
計算係() 記録係() その他()

3年()組()番()・()班

家計のシミュレーションゲーム・家計簿

- 前時で選択した各項目のコースを確認しよう。
- 月収70万円(年収840万円の12等分)として、選んだコースの場合、1ヶ月の総支出がいくらで、預貯金がいくらかを確認しよう。
⇒自分の班の1ヶ月あたりの預貯金額 **ア** 万円
- 5年間で預金はいくらになるかを計算する(ア×12ヶ月×5年間)。
⇒自分の班の預金額 **イ** 万円

↑ (この額からゲームをスタートします)

年月	カード内容メモ	臨時収入金額	臨時支出金額	預貯金残高	満足度	我慢度
				イ		
2006年 1-2月						
3-4月						
5-6月						
7-8月						
9-10月						
11-12月						
2007年 1-2月						
3-4月						
5-6月						
7-8月						
9-10月						
11-12月						
2008年 1-2月						
3-4月						
5-6月						
7-8月						
9-10月						
11-12月						
2009年 1-2月						
3-4月						
5-6月						
7-8月						
9-10月						
11-12月						
2010年 1-2月						
3-4月						
5-6月						
7-8月						
9-10月						
11-12月						
5年間の収支残高の合計と満足度・我慢度の合計						

4. ゲームをやってみての感想や、自分たちの班の家計の良かった点や改善点を班で話し合おう。
班で出た意見を、下に書き出してみよう。

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

1 金融教育のねらいと
基本的性格

2 金融教育の
目標と方法

3 金融教育を支援する
関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の
作成と実施に向けて

5 小学校における
金融教育

6 中学校における
金融教育

7 高等学校における
金融教育

資料

年()組()番()・()班

模 擬 商 談 用 メ モ

ケース	条 件：住宅の場合 (予算、地域、場所、日当たり、ローンの組み方、保証 など) 条 件：車の場合 (予算、用途、性能、車種、オプション、ローンの組み方、保証 など)	質問すること 交渉する点 など	分かったこと 気付いたこと 感じたこと など
【住宅例】 1. 都心に近いA周辺 2. 郊外のB周辺	<input type="checkbox"/> 緑が多い <input type="checkbox"/> 南向きで車庫付き土地 <input type="checkbox"/> 駅に近く、静かな住宅地 <input type="checkbox"/> スーパーマーケットに近い <input type="checkbox"/> ホームセキュリティ付き <input type="checkbox"/> ウォークインクローゼット付き <input type="checkbox"/> 予算は2億円程度 <input type="checkbox"/> 予算は4,000万円(頭金1,000万円)まで <input type="checkbox"/> 郊外のB周辺 <input type="checkbox"/> 3~4LDK <input type="checkbox"/> 緑が多い <input type="checkbox"/> 冷暖房完備	<input type="checkbox"/> ルーフバルコニーは付けられるか? <input type="checkbox"/> リビングに大型スクリーンは付けられるか? その大きさや値段は? <input type="checkbox"/> 冷暖房はどの位かかるか? <input type="checkbox"/> 4,000万円可能か?	<input type="checkbox"/> 土地代は坪単価200万円 200万円×50坪で =1億円 <input type="checkbox"/> 年収が全く不足している <input type="checkbox"/> ローンの利子は予想外にかかる <input type="checkbox"/> スクリーンは3m×2mで200万円程 <input type="checkbox"/> 5ヵ所付けると200万円くらい <input type="checkbox"/> 土地代は坪単価70万円 70万円×30坪だと =2,100万円 <input type="checkbox"/> 親子リレー返済という方法もある
【車例】 1. 大型ワンボックスのC 2. 中型ワンボックスのD	<input type="checkbox"/> 予算は400万円程度 <input type="checkbox"/> 主な用途は旅行 <input type="checkbox"/> 車種はC(ワンボックス 祖父母も一緒に6人以上乗れる) <input type="checkbox"/> オプションはテレビ(DVD)カーナビ、エアバック <input type="checkbox"/> ローンの組み方は、頭金100万円で5年間(60回) <input type="checkbox"/> 予算は200万円程度 <input type="checkbox"/> 用途は買い物、レジャー、通勤など <input type="checkbox"/> 車種はD(ワンボックス 6人以上乗れる) <input type="checkbox"/> オプションはDVDボイスカーナビ、マルチAVステーション <input type="checkbox"/> ローンの組み方は頭金70万円で5年間(60回)	<input type="checkbox"/> 月にいくらくらいかかるのか? <input type="checkbox"/> どれくらい値引きしてくれるのか? <input type="checkbox"/> 保証はどれくらいか?	<input type="checkbox"/> 本体価格以外に、オプションをいろいろ付けると、580万円くらいになってしまう <input type="checkbox"/> 消費税がかかる <input type="checkbox"/> 頭金を100万円払っても、月に8万円 <input type="checkbox"/> 駐車場があっても、税金(自動車税・重量税)や保険、ガソリン代など、月の維持費がローンとは別に3万円ほどかかる <input type="checkbox"/> 頭金が少なく、長いローンを組むと支払金の総額が多くなる <input type="checkbox"/> 決算期や在庫処分の時期は、値引きの条件が良くなる <input type="checkbox"/> 車両の基本構造にかかわる部分で、3年間又は走行距離5万km

【感想】

.....

.....

.....

(注) 黄色の部分は生徒記入例(第4時~第5時)、水色の部分は同(第6時)。